

令和元年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	健康福祉部
部(局)長	石橋 敬三
理事	梅川 保和(健康・保険担当)

【基本姿勢】

「地域のつながりの中で誰もが健康で安心して暮らしている」の実現を政策目標とします。
この目標を達成するため、支援を要する市民一人ひとりのニーズを的確につかみながら、高齢者、障害者、妊婦や子育て世帯など誰もが、身近な地域で不安なく自立して暮らすことができるまちを目指し、生活困窮世帯の自立支援、高齢者福祉の増進と健康寿命延伸、障害者の自立支援、市民の健康づくり、妊娠から子育てまでの包括支援、福祉サービスの質の向上と確保等、多岐にわたる課題に対し、部内連携体制を強化しつつ総合的に取り組めます。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	健康づくり事業の活性化と健康管理意識の向上を図る仕組みづくり	C
2	子どもや家庭等に対して必要な支援を総合的かつ切れ目なく行うための機構整備	A
3	保護者が安心して子どもを預けることができ、子どもが健全に育つ環境づくり	A
4	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくり	A
5	障害の有無に関わらず、誰もが健康で安心して暮らせる地域づくり	A
6	幼保再編の推進における「(仮称)かしわら認定こども園」開園に向けた段階的な進捗管理	A
7	生活困窮者支援の拡充及び生活保護扶助の適正実施	A
8	福祉サービスを提供する事業所の適正な運営確保とサービスの質の向上	B

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 1	健康づくり事業の活性化と健康管理意識の向上を図る仕組みづくり
--------	--------------------------------

全体の達成度
C
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健康づくり活動を展開する市民グループや個人を支援する仕組みと体制を構築し、健康運動教室の活性化と予防医療の必要性を啓発し、個々の自主的な行動を促進します。
---------------------	---

活動目標
健康づくり活動を展開する市民グループを応援する支援制度構築に向け、実態の把握と関係機関との調整を図ります。
健康運動教室の開催内容の充実を図り、特定健診やがん検診受診率の向上を目指すとともに、大阪府の健康づくり支援事業への積極的な参加を図ります。

具体的な取組実績
健康づくり推進会議（柏原市社会福祉協議会、健康福祉課、高齢介護課、保険年金課、福祉総務課、スポーツ推進課、企画調整課）を2回開催し、健康づくり活動の支援制度について検討しました。 また、健康福祉部内関係課で、会議や視察を実施しました。
健康運動教室につきましては、令和元年度は1教室増やし、内容の充実を図りました。 特定健診については、未受診者8,151名に、はがきや文書を送付し受診勧奨を行いました。 また、大阪府の健康づくりアプリ「アスマイル」の普及啓発を行いました。

達成目標
自主的な健康づくりを継続して展開する市民グループ活動を支援できる制度を構築します。
健康運動教室参加者数の増、特定健診受診率45%、5種のがん検診府内平均受診率を上回ることを目指します。

達成状況	達成度
健康づくりに関する市民グループ活動の支援制度の構築に関して、関係部局で協議・検討を行った結果、次年度への繰越案件となりましたが、新たな取組体制の構築と方向性を確認することができました。	D 未達成
健康運動教室参加者は、1教室増やしたことにより、延べ参加者人数が増となりました。 特定健診は、現時点で、36.5%で、前年から1.1ポイントの伸びです。 がん検診は、婦人科系検診は府平均を超える見込みですが、他は前年同様に平均を下回りました。	C 一部達成

総合評価・総括
健康づくり推進会議で検討の結果、市民グループ活動の支援制度は100歳体操の支援強化にとどめ、新たな制度構築は見送り、手法を変えて検討を進めることになりました。そこで、次年度に向けては、健康づくり推進会議を補強し、事務分掌規則に基づく健康づくりに関するプロジェクトチームを発展的に結成し、健康無関心層へのアプローチなどに取り組んでいくことを確認しました。 がん検診につきましては、新たに協会けんぽの被扶養者の特定健診と本市がん検診を同時に行うなど、受診しやすい新たな手法を取り入れることとしました。

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 2	子どもや家庭等に対して必要な支援を総合的かつ切れ目なく行うための機構整備
--------	--------------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	妊産婦・乳幼児等の状況を継続的、包括的に把握し、切れ目なく支援するとともに、就学後を含め、虐待防止などを目的に情報提供、相談・指導などの専門的な支援を行う体制を確立します。
---------------------	--

活動目標
子育て世代包括支援センターの開設に向け調査検討し、必要な人員と予算等の確保及び庁内調整を行います。
子ども家庭総合支援拠点の開設に向け調査検討し、必要な人員と予算等の確保及び庁内調整を行います。

具体的な取組実績
先行して設置された他市の子育て世代包括支援センターへの視察など、取り組み方法や必要な職種、人員について調査を実施しました。必要な人員や物品を検討し、確保については、概ね予定通り進めており、子ども家庭総合支援拠点との連携についても会議を重ね調整済みです。
支援拠点開設に向け、健康福祉課と共に先進市に視察し研究を行いました。 実施計画に上げ庁内で調整をはかりながら予算の確保、人員の募集を実施しました。

達成目標
子育て世代包括支援センターを令和2年4月に設置します。
子ども家庭総合支援拠点を令和2年4月に設置します。

達成状況	達成度
想定した業務量から必要な人員として保健師2名、看護師1名を増員予定です。 また、必要物品につきましても今年度中に購入を予定しており、4月からのスタートに向け順調に進捗しています。	A 達成
令和2年4月の設置が決定しました。 引き続き、事業内容の精査、組織体制の次のステップなどについて関係機関との調整を進めます。	A 達成

総合評価・総括
<p>子育て世代包括支援センターの設置に向けては、ほぼ予定通り進行しています。</p> <p>また、必要な人員につきましても採用が予定されています。令和2年度は産婦健診、産後ケア事業などもスタートさせ、また、新設される子ども家庭総合支援拠点と一体的に、妊娠期から子育て期にいたるまで切れ目のない支援を実施することにより、子育て世代全般に対する支援体制の充実を図ることができると考えます。</p> <p>また、子ども家庭総合支援拠点については、事業実施に向け予算の確保及び必要な専門職の獲得が概ね可能となりました。今後は令和3年度新庁舎移行を見据えて、子育て世代包括支援センターとの一体的な事業運営が可能になるよう、引き続き調整が必要です。</p>

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 3	保護者が安心して子どもを預けることができ、子どもが健全に育つ環境づくり
--------	-------------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	待機児童の解消に努め、保護者が安心して子どもを預けることができる環境づくりに取り組むと共に、子育て世帯の経済的負担の軽減を進めることで、子育て環境の更なる充実を図ります。
---------------------	---

活動目標
<p>本年10月実施の国の幼児教育・保育の無償化に向け、例規整備と保育システムの改修を行い、制度を周知します。</p> <p>また、先行実施した市制度からの移行で、保護者の負担増とならないよう対応します。</p>
<p>本年7月1日から実施する放課後児童会の時間延長に向けた体制整備のため、年間を通じて指導員の確保に努めます。</p>

具体的な取組実績
<p>国の無償化制度に合わせ、既存の保育システムの改修および保育料に関する条例改正を行うと共に、制度の周知に努めました。</p>
<p>ハローワークや市広報誌、SNS等を活用し、指導員の確保に努めました。</p> <p>また、新たに拡充する朝の延長時間帯の指導員の配置体制等については、現場の指導員と共に検討を行いました。</p>

達成目標
<p>国に先駆けて実施している5歳児の幼児教育・保育の無償化制度は、国の幼児教育無償化制度の完全実施へスムーズに移行します。</p>
<p>本年7月1日から、土曜日及び長期休業中の放課後児童会の開会時間を拡大し、午前8時からとし、年間を通じて安定的に児童会を運営します。</p>

達成状況	達成度
<p>先行実施していた市制度から国の無償化制度へ変わることにより負担増となる世帯を出すことなく、スムーズに制度の移行ができました。</p>	A 達成
<p>保護者のニーズに合わせて、開会時間の拡大を図ると共に、児童が安全に安心して通会できる放課後児童会の安定的な運営ができました。</p>	A 達成

総合評価・総括
<p>市では、国の幼児教育・保育の無償化制度の実施に先行し、平成30年9月から5歳児教育部分無償化制度を実施してきました。令和元年10月からの国の無償化制度開始にあたっては、システム改修や条例の改正、新たな事務手続きの構築、制度の周知などに取り組むことで、これまでの市制度から国制度へスムーズに移行できたと考えています。</p> <p>また、放課後児童会では、土曜日及び長期休業中の朝の開会時間を午前8時からとすることで、保護者のニーズに対応すると共に、児童が安全に安心して通会できる環境づくりに努めました。</p>

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 4	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくり
--------	-------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	高齢者が、地域で生きがいを持って暮らすことができるよう、介護予防・重度化防止の充実に取り組むとともに、医療と介護の切れ目のない連携支援体制を構築します。
---------------------	--

活動目標
医療と介護の橋渡し役となる「在宅医療・介護連携推進センター」の設置に向け、市立柏原病院と協議します。
高齢者の介護予防・健康づくりと高齢者同士の互助を推進するため、活動手法の指導助言や活動場所確保の支援を通じて地域介護予防活動の育成に取り組みます。

具体的な取組実績
「在宅医療・介護連携推進センター」を令和元年10月1日から市立柏原病院に開設しました。ウェブサイトの開設や、いかしてネットかしわら研修会などで、その周知に取り組みました。
地域に出向き、柏原市いきいき百歳体操に関する出前講座を行うとともに、その活動が継続できるよう、会場使用料等の助成を行いました。

達成目標
「在宅医療・介護連携推進センター」を設置し、運営を開始します。
百歳体操を定期的に取り組む団体数を前年度より増やします。

達成状況	達成度
在宅医療・介護連携推進センターの令和元年10～12月の相談実績は4件で、相談内容は、在宅医療に対応できる市内診療所や療養型病院の紹介等でした。	A 達成
柏原市いきいき百歳体操に取り組む団体（週1回以上の開催頻度のある団体）が、平成31年3月末時点14団体から令和2年1月末時点で26団体となり、前年度に対し12団体増やすことができました。	A 達成

総合評価・総括
<p>柏原市では団塊の世代が70歳代前半に達しています。70歳代前半は、元気高齢者から軽度要支援者が多く、その介護予防に取り組みました。</p> <p>目標としていた、医療と介護が切れ目なくサービス提供できるよう、医療従事者と介護従事者との連携を支援するための相談窓口の開設につきましては、柏原市の医療・介護分野に精通し、連携支援を行う必要があることから、市立柏原病院に委託し、開設しました。</p> <p>また、百歳体操に取り組む団体数についても、計画どおり増やすことができました。</p> <p>今後、団塊の世代の高齢化が進み、医療と介護の双方のサービスが必要な重度要介護者が増加することが予想されますので、引き続き取り組みを進めます。</p>

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 5	障害の有無に関わらず、誰もが健康で安心して暮らせる地域づくり
--------	--------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画に基づき、障害者児の自立支援及び社会参加に係る取組みや、障害児へのサービス提供体制の整備を推進します。
---------------------	--

活動目標
手話言語条例制定に向けて、障害者団体及び柏原市障害者自立支援協議会などから意見を聴取し、また、市民からの意見も反映し、制度設計の内容調整を行います。
第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画に基づき各事業を実施します。 また、軽度難聴児補聴器購入等助成事業の実施等、制度の谷間も含めた障害福祉サービス提供にも取組みます。

具体的な取組実績
条例及び施策推進方針の素案を作成するにあたり、聴覚障害者団体と5回、身体障害者団体と2回の意見交換会を実施するとともに、大阪教育大学においても、手話に関する講義を行い、意見聴取を行いました。 さらに、パブリックコメントを実施し、関係課とも調整を行ったうえで、最終案を作成しました。 なお、年2回開催する柏原市障害者自立支援協議会においても意見聴取及び最終案の報告を行いました。
令和元年7月に開催した柏原市障害者自立支援協議会全体会において、平成30年度の計画実績をPDCAサイクルに基づいた評価・点検及び意見等を聴取を行い、目標達成に向けた課題や問題点を抽出しました。 また、新規事業である軽度難聴児補聴器購入等助成事業については、広報誌及び市HPに記事を掲載し、周知に努めました。

達成目標
手話言語条例を制定し、障害者への意思疎通支援体制を更に強化します。
第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の進捗管理と状況把握を行い、活動指標及び目標にかかる年度の目標を達成します。

達成状況	達成度
令和2年第1回定例会に手話言語条例制定を提案しました。次年度において、条例と同時に策定した施策推進方針に基づき、手話への理解促進及び手話の普及に関する事業を展開し、さらに障害者への意思疎通支援体制を強化します。	A 達成
第5期障害福祉計画の目標の一つである地域生活支援拠点等の整備するため、近隣市及び事業所と協議を行い、介助者の急病等といった緊急時に障害者を受け入れる居室を確保し、次年度より供用開始する予定です。	A 達成

総合評価・総括
手話言語条例制定については、障害者団体及び柏原市障害者自立支援協議会との意見聴取と協議を行い、さら市民からも意見公募し、検討を重ね、条例案を作成することができました。条例施行後も関係団体と連携し、事業を展開する予定です。 また、最終年度を迎える「第5期柏原市障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画」については、障害者の緊急時居室確保に取り組み、目標を達成することができました。引き続き進捗管理を行い、柏原市障害者自立支援協議会と連携し、厳正な評価・点検を行い、目標達成に向けて取り組めます。

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 6	幼保再編の推進における「(仮称)かしわら認定こども園」開園に向けた段階的な進捗管理
--------	---

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	幼保再編を進めます。その具体的取組みのひとつとして、令和3年4月の「(仮称)かしわら認定こども園」開園に向けた整備を進めるとともに、令和2年度途中から0歳児保育を先行開始します。
---------------------	---

活動目標
認定こども園の整備を円滑に進めるため、工程管理を徹底するとともに、住民に周知し理解を得ながら工事を進めます。
乳児保育のスキル習得のため、他市の認定こども園に職員を派遣し研修します。 また、離乳食に対応した自園調理ができるよう、委託内容の精査と業者の選定を行います。

具体的な取組実績
4月の工事の入札について、応札額が予定価格を上回ったため、不調となりましたが、2回目の入札で落札できました。この影響で整備工程が3ヶ月後ろ倒しとなりましたが、令和2年度内完成については、変更することなく進捗できました。 また、住民説明会を2回開催するなど、周知と理解促進を図りました。
八尾市に協力依頼し、八尾市立の認定こども園に保育士一名を乳児クラスの担任として派遣し、一年間を通じて実地研修を実施しました。 自園調理を実施する事業者の選定にあたっては、他市の状況等も踏まえて業務内容を精査した仕様書を作成し、入札を実施しました。

達成目標
「(仮称)かしわら認定こども園」の整備工程に従い、安全に遅滞なく工事を進捗させます。
乳児保育を実施するスタッフがスキルを習得するとともに、自園調理を行う事業者を決定します。

達成状況	達成度
業者選定に苦心した結果、多少の工程変更はあったものの、既に業者選定を経て工事着工し、令和3年4月開園に向け、概ね予定どおり進めることができました。	A 達成
乳児クラスの運営スキルを身に付けることができました。 多くの保育施設で業務実績のある自園調理実施事業者を選定することができました。	A 達成

総合評価・総括
<p>(仮称)かしわら認定こども園については、多少の予定変更はあったものの令和3年度開園に向け概ね、予定通り進めることができました。</p> <p>なお、他の地区においても、玉手幼稚園の園児数の減少、また、国分幼稚園の耐震診断の結果を受け、新たに(仮称)たまた認定こども園および(仮称)こくぶ認定こども園を令和3年度開園に向け整備をすることとなったため、統合について遅滞なく進めることが今後の課題です。</p> <p>また、「(仮称)かしわら認定こども園」での自園調理については、十分な実績のある事業者を選定することができました。今後は、11月からの自園調理開始に向け、委託業者と連携を取りながら準備を進め、子どもたちに安心して安全な給食の提供ができるよう努めてまいります。</p>

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 7	生活困窮者支援の拡充及び生活保護扶助の適正実施
--------	-------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	生活困窮者を早期に発見し、複合化・複雑化した課題に的確に対応するため、多機関でのケースの検討による包括的な支援を行います。 また、生活保護事業の医療扶助の適正化を推進します。
---------------------	--

活動目標
生活困窮者の包括的な支援体制を充実させるため、「生活困窮者支援会議」における毎月の全体会議に加え、就労支援、こども若者支援、生活困窮者民間支援の3つの専門部会を開催します。
医療扶助の適正化を図るため、令和3年1月からの必須事業である「被保護者健康管理支援事業」の円滑な施行に向けてレセプト管理システム等の改修内容を検討するなど準備を行います。

具体的な取組実績
生活困窮者支援会議を24回、それぞれの専門部会は、基本メンバーを核に、就労支援部会では、ハローワークや地域若者サポートステーションなどが加わり2回、子ども・若者支援部会では、教育委員会や保健所などが加わり3回、民間支援部会では、市内の社会福祉法人や大阪府社協が加わり3回開催しました。
「被保護者健康管理支援事業」業務委託の内容の決定とそれに伴うシステム改修内容を決定しました。

達成目標
会議における役割を分担し、課題抽出や、課題解決に向けての検討などがスムーズに行えるよう、各専門部会が、役割・機能を十分に活かすための業務フローを確立させます。
レセプト管理システム等の改修内容を決定します。

達成状況	達成度
各専門部会では、より専門的な関わりについて議論できるよう、多機関が関わり連携の幅を広げるなど、柔軟性のある支援を検討することが可能となりました。	A 達成
被保護者のレセプトデータを分析・解析し、受診行動適正化リスト、糖尿病性腎症重症化予防リスト作成の事業化を決定し、これらのリストに基づき健康管理支援対象者の抽出に必要な生保システムの改修内容を決定しました。	A 達成

総合評価・総括
生活困窮者支援会議は、3つの専門部会を開催し、各部会において、それぞれが役割を果たすことで、課題解決に向けて、よりきめ細やかな支援がより具体的な提案を行うことができるようになりました。 レセプト管理システム等の改修は、医療保険者が実施している健康管理支援を被保護者にも適用するために必要なものですが、本市の人員配置や財政状況からどのように実施していくことが最も良いのか検討し決定しました。令和2年度に入れば速やかに改修を行い、被保護者健康管理支援事業を実施し、医療扶助の適正化を図ります。

部(局)名	健康福祉部
-------	-------

重点課題 8	福祉サービスを提供する事業所の適正な運営確保とサービスの質の向上
--------	----------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	健全な福祉サービス等が提供されるように、市が指導監督の権限を有する社会福祉法人及び各種福祉サービス事業者に対して適切な運営指導を行います。
---------------------	---

活動目標
社会福祉法、介護保険法など関係法規に基づき事業者の指導・監査等を実施します。
市内介護保険サービス事業者の新規・更新に係る審査事務手数料を徴収します。

具体的な取組実績
市内全事業者に対し、集団指導を実施しました。また、実地指導・監査等を計画的に実施しました。
市内介護保険サービス事業者から出された新規・更新の申請について、審査手数料はすべて徴収しました。

達成目標
各種福祉サービス事業者に対する集団指導の開催、実地指導等を実施します。
市内介護保険サービス事業者から審査事務手数料を徴収します。

達成状況	達成度
集団指導については、令和元年6月に市内事業者に対し開催、実地指導・監査等については、ほぼ予定どおり実施することができました。	B 概ね達成
徴収実績については、新規8件、更新22件で、実績額は480,000円（令和2年2月13日現在調定）です。	A 達成

総合評価・総括
<p>令和元年度は、認可外保育施設の検査などに重点をおいて、全体的には概ね達成できたと考えます。</p> <p>当該業務は、担当職員の経験・専門性がその進捗に大きく影響を及ぼすため、前年度に引き続き専門性を持った職員の育成などを計画的に進められるよう、人事部局との調整等を行い、今後とも事業者による福祉サービス等の提供がより健全なものとなるよう慎重に指導・監査等を実施します。</p> <p>また、審査事務手数料については問題なく徴収を行いました。</p>